

第3回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和2年10月12日(月)PM7:00～PM9:00
場 所 新城市消防防災センター 2階 災害対策本部室
出席者 委員27名(オンライン参加23名) 事務局4名

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議事
 - (1) 令和3年度地域自治区予算事業計画案の決定について
 - (2) 東郷地域自治区の足を考える会メンバー選出について
- 3 報告・連絡事項
 - (1) 地域計画策定進捗状況について
 - (2) 地域意見交換会の開催について

1 会長あいさつ

- ・建議の前の会議なので、色々なことを決定する重要な会議となる。短時間集中しましょう。
- ・各区から代表で出席している委員の方は、地域協議会での決定事項を各部落に確実に伝達してもらいたい。
- ・定数28人のところ27人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

2 議事

(1) 令和3年度地域自治区予算事業計画案の決定について

事務局から令和3年度地域自治区予算事業計画案について説明があった。

○主な意見

- 市村副会長 多世代交流事業の仮設のトイレは洋式か、それとも和式か。
事務局 確か洋式だった。
市村副会長 和式だと出来ない子供も過去のイベントにいたので、洋式の方がいいと思う。

審議結果

令和3年度地域自治区予算事業計画案について決定された。今後、地域協議会だよりで10月中旬の区長発送で住民に意見募集を行っていくこととなった。

その後、継続審議中の大海駅及び三河東郷駅の駐輪場整備について協議を行った。

○主な意見

- 委 員 トイレを建設した時の資料は確認できたか。
事務局 トイレは市で建設している。その時に市で建築確認しているが、その時は測量して

いない。当時は制度上必要なかった。今はしっかりと測量分筆しないと建築確認申請ができない。今と昔で状況が異なる。

会 長 基本的には全部を測量しないといけないが、特例措置もある。もう少し詰めないと確定できないがもっと安く出来るかも知れない。電車通学、通勤が昔と思うと減った。子どもたちが自転車を野ざらしで置いておくというのは不安。台風でふっとんでしまうし、雨の場合はびしょ濡れとなる。地域の足を考える会の派生的な問題。予算ははかかるが、計画的にやればできないことはないと思う。

委 員 三河東郷駅の駅舎の屋根を自転車が濡れない長さだけ伸ばす。それであれば、建坪率の問題もあれば柱がなければ建物とにならないので、建築確認不要なのではないか。大海駅は、駅舎の擁壁に庇をつけたらどうか。どちらにしても、JRが駅舎の改造を許可するかどうか。

市村副会長 屋根だけではなくて、タイヤ止めは建築基準法はかからないのか。

委 員 かからない。かかるのは屋根、柱、壁だけ。

委 員 大海駅はトイレの部分をいじるのは無理なので、擁壁を利用するしかないと思う。

委 員 戸田委員にも立ち会ってもらい、事務局と現地確認を一緒にしたらどうか。

委 員 言葉で言うとなかなか理解が難しいので、戸田委員にポンチ絵を描いてもらって今後の説明資料としたらどうか。

委 員 民間のコストをかけずにといい考え方で言っている。劣化度や強度は劣るが。

委 員 そもそも問題の解決になるようにしてほしい。三河東郷駅は22台散乱している。せつかく駐輪場を作っても入りきらないなら意味がない。年度によっても違うが、そのことも頭に入れておいて欲しい。

委 員 三河東郷駅は東郷だけでなく、日吉の方も使用しているため台数が多い。

委 員 大海駅は送迎の車が多い。駐輪、駐車スペースがはっきりしていないので、駐輪スペースがはっきりすれば、交通事故の危険性を減らすことはできる。

委 員 大海駅はだいたい親が送迎している。自転車はいつも5～6台あるかないか。

会 長 自転車が盗まれたり、倒れてしまう不安もあると思うので、駐輪場ができれば利用者も増えるかもしれない。あつて困るものではないので、将来を見据えて作るべき。

審議結果

建築確認や測量分筆にかかる法的な部分やJRとの協議結果などについて事務局から随時報告してもらい地域協議会として継続的に審議していくこととなった。

(2) 東郷地域自治区の足を考える会メンバー選出について

東郷地域自治区の足を考える会のメンバーとして、東郷地域自治区の足を考える会設置規程では地域協議会から2人出すことになっているので、2人を決定することになった。

○主な意見

委 員 任期は1年なのか。

事務局 東郷に合った地域交通の仕組みを令和4年度に実施していくことが目標。会の進捗によるので何とも言えない。1年で終わる場合もあるし、3年続く可能性もある。

会 長 簡単に解決できる話ではないので、最低でも2年、長ければ4年やってもらいたい。

審議結果

市村副会長、赤川副会長、熊谷委員が選出された。

※熊谷委員は協議会枠ではなく、市民公募枠として出るようになった。

3 報告・連絡事項

(1) 地域計画策定進捗状況について(地域計画推進分科会の佐々木委員から報告)

- ・地域計画冊子、概要版を制作中。今年度中に冊子はホームページで公開、概要版は各戸配布できるようにしたい。
- ・次回 11/16 の第4回地域協議会で完成版を報告できるようにしたい。
- ・これを元に地域の方に概要版などもっと分かりやすいものを配ったり、派生していく。これが完成版ではない。

○主な意見

- 委員 自主防災支援活動は、これで事業終了ということだが、テントひとつとっても、囲いのあるものを持っている区はおそらくない。今持っているのはイベント用テントなので、何かあったときにテントの中に人を待たせておくことはできない。自主防災に関しては、予算を縮小してでも実のあることをやっていけばいい。安全灯に関しても、自分で確認してもまだまだ付けたいところもあるので、予算を絞って抽選ということや、事業規模を縮小してでもやっていったほうがいい。また、自主防災組織の連携という点では、トランシーバーは貸与されているが、マルチチャンネルの機能を持っている区はおそらくない。許認可いるが、全区に通話ができるようなシステムを作るなど、今までは、あれが欲しい、これが欲しいくらいだったが、地域計画を活用してこういうものを東郷全体として用意していこうという姿勢が必要。
- 委員 計画に書いてしまうと、もうこれで二度とやらないと思われるショック。計画を常に見てもらい、地域の防災を考えたときに復活する可能性もあるし、今後計画の見直しも絶対に出てくる。やるかやらないか、あくまでも目安としてひとつのコンパス。
- 委員 自主防災組織の横の連携など、新たなものの考え方をしていかないと。例えばけが人が出たが、公民館で受け入れができるのかなど、今後地域計画を見て、本当に何が必要かというのを考えるきっかけとなつたらいい。
- 会長 書かれていることが全て決まっているのではなく、年度ごとに更新していけばいい。
- 委員 地域計画に掲載している以外にも必要なものはあると思う。
- 委員 ここにいるメンバーだけが分かっているだけではダメ。住民の皆さんが考えて頂くための道具。
- 委員 地域計画を区民に見てもらったところ、色々と気づきがあった。何かあったときに、必要なものを考えて、東郷全体の自主防災会のたたき台になる気がしている。
- 会長 自主防災組織の横の連携の中で内容を充実をしていかないといけない。まずは地域からうねりを起こして、だんだんと広げていかないと。市役所がやるからいいやとなってしまうといけない。自主防災組織の横の連携をなんとか作りたい。
- 会長 市役所の書類は文字ばかり。文字ばかりだと一般の人は読まない。絵とか写真を増やさないと読んでくれない。

(2) 地域意見交換会の開催について

今年度の地域意見交換会の開催内容について、事務局から説明した。

○主な意見

- 会 長 今までは要望合戦で終わってしまうケースが多かったので、市民との対話や問題の掘り下げを行いたいということで話が出てきた。テーマの希望があれば言って欲しい。
- 委 員 1時間30分だと時間が短いので、この時間でやるならばテーマは2つくらいしかできないのではないかな。
- 会 長 少子高齢化と第1次産業をどう守るか、というテーマが重要だと感じている。
- 委 員 決められたテーマだけでなく、自由テーマも必要。時間も限られているが、質問できなかったら、後日文書で提出してもいい。
- 委 員 時間が短いので、もう少し伸ばした方がいい。
- 事務局 極端な時間だと厳しいが、2～3時間程度なら市長との交渉次第だと思う。
- 会 長 ある程度前もって委員の中で話を煮詰めておいた方がいい。
- 委 員 時間はあまり長くしてもどうなのか。それならテーマを絞り込んだ方がいい。
- 会 長 市長が市民の質問に答えてくれるなんて機会はなかなかない。貴重な時間だと思う。
- 委 員 若者の参加を考えるなら、年代によって考えていることも異なるので、テーマについても若者が参加しやすいテーマも検討する必要がある。
- 会 長 学校を通じて呼び掛けることもできるのか。
- 事務局 基本は広報ほのか12月号で呼び掛けるが、要望があれば秘書人事課から学校に呼び掛けることも可能だと思う。
- 会 長 新城の未来を考える、なんていいのではないかな。
- 委 員 子育てのボランティアについて考えたり、防災の若者が担う役割、ということにすれば若者もこのテーマで話し合うことができるのでは。
- 委 員 テーマが決まっているのであれば、若者の参加も必要なので、そういう意見を聞く方向で進められればいいと思う。
- 市村副会長 質問はあらかじめ市長に提出するのか。
- 事務局 できれば事前に質問をいただければ、市長含め担当部長に事前に届けられ、しっかりと考えておくことができるので、事前にいただきたい。
- 委 員 質問してもその場でしか答えられないことが多い。前もって質問を通告することはいいことだと思う。
- 委 員 あらかじめ質問通告をしなければそうになってしまう。ちゃんとした回答が欲しいなら事前に通告して、関係部局と調整して意見を揃えた上で回答してもらおう。ぶっつけ本番だと、いいかげんなことが言えないので持ち帰りになってしまう。
- 市村副会長 毎年不完全燃焼。後ほど書面で回答すると返ってくる。
- 会 長 そういう議論も必要だと思うが、もっと自由に市民と行政担当者あるいは市長が自由に議論し合って新城の未来を考える場ができれば一番理想的。あんまり国会みたいに官僚が作った作文を読むだけのようなものにはしたくない。揚げ足を取るようなことはしたくないが、行政が抱えている悩みも市民が抱えている悩みも大して変わらない。どっちみち人もお金もない。そういうことをぶっつけ合えばいい。そういう場があるだけで

も新城市民は幸せ。全然やらないまちもいっぱいある。

委員 自由な質問をする場は必要。ただ市の方から明確な回答が返ってこない場合が多い。事前に分かっていたらば通告した方がよい。

会長 その場で思いつきで言うこともあってもいい。

審議結果

地域協議会の意見として決定したことは、時間は3時間。テーマは地域交通、防災、子育て。若者を積極的に呼び掛けるということとなった。

会長 今年度は皆様のご協力もあってテレビ会議でも非常に良い議論が出来た。来年3月で辞められる人もいると思うが、地域協議会面白いなと思った人はぜひ来年も続けてほしい。2年3年続けてもらわないと1年では本当の議論ができない。また、ぜひマウンテンバイクの現場を見に行きたくて欲しい。若い人たちが頑張っている。駐車場は武道場や南側、土日は八剣神社の駐車場も利用可能。

次回は、第6回地域計画推進分科会

11月9日(月)19時から

オンライン会議で開催

※環境がない方は消防防災センターに参集

次々回は、第4回地域協議会

11月16日(月)19時から

オンライン会議で開催

※環境がない方は消防防災センターに参集

【21:00 終了】